

平成 25 年度

豊中市文化芸術推進プランに基づく施策実施状況

平成 27 年(2015 年)1 月

豊中市人権文化部文化芸術室

目次

	ページ
I. 発行の趣旨	1
II. 前年度との変更点	1
III. 本書の構成	1
IV. 文化芸術推進プランについて	2
V. 文化芸術推進プランの主な取り組み、成果と今後に向けての方向性	4
1. 文化芸術活動を担う人材の育成	4
2. 大学のあるまちとよなかの推進	6
3. 音楽あふれるまちとよなかの推進	7
4. 協働の仕組みづくりの推進	9
5. 文化芸術にかかる地域資源の活用・発信	11
VI. 平成25年度文化芸術推進プラン事業別の取り組み	13
1. 文化芸術活動を担う人材の育成	13
2. 大学のあるまちとよなかの推進	15
3. 音楽あふれるまちとよなかの推進	17
4. 協働の仕組みづくりの推進	22
5. 文化芸術にかかる地域資源の活用・発信	25
6. その他の事業	27

I. 発行の趣旨

文化芸術振興基本方針(平成 20 年策定)の実行計画として位置づけられた文化芸術推進プラン(平成 24 年策定)に基づく平成 25 年度の施策実施状況を把握し、今後の施策展開の参考とするため、**施策毎の主な取り組み、成果と今後に向けての方向性の検証**を行い、報告書を発行するものです。

II. 前年度との変更点

文化芸術推進プランに基づく取り組み、成果、課題を中心に掲出

平成 25 年度は、文化芸術推進プランに基づく事業の取り組み状況、成果と課題、個別事業を掲出し、文化芸術推進プランの体系に収まらない文化芸術振興基本方針の関連項目については、27 ページに「6. その他の事業」として紹介しています。

III. 本書の構成

「IV. 文化芸術推進プランについて」では、文化芸術推進プランから策定趣旨、展開戦略、推進プログラムを抜粋して掲載しています。

「V. 文化芸術推進プランの主な取り組み、成果と今後に向けての方向性」では、5つの推進プログラム毎に、趣旨を抜粋し、前年度を中心とした主な取り組みと成果、それを踏まえた今後の方向性について記載しています。

「VI. 平成 25 年度文化芸術推進プラン事業別の取り組み」では、5つの推進プログラム毎に、平成 25 年度に実施した文化芸術推進プラン記載事業、関連事業の内容と実績を記載しています。なお、継続事業については、前年度の実績数値も参考として掲出しています。

Ⅳ. 文化芸術推進プランについて

①策定趣旨

第3次豊中市総合計画が掲げる「市民文化の創造を支えるしくみづくり」及び基本方針の重点施策をより具体的かつ確実に推進するため、平成24年に「豊中市文化芸術推進プラン」を策定しました。

豊中市文化芸術推進プラン（以下「推進プラン」という）は、「事業者、大学、行政の連携」「地域の多様な活動主体の参画」「地域資源の活用」の3つの基本視点に基づき、市内各地域の文化芸術に関する地域資源を豊中市域全体から市外へ発信し、豊中の魅力づくりにつなげます。

②文化芸術推進プランの展開戦略

推進プランは、平成28年に予定されている豊中市立文化芸術センター（以下「文芸センター」という）の開設をめざし、平成28年までをその準備期間として位置づけ、開設に向けた市民の気運を高めるため、人材育成も含めた市民参画事業を展開するとともに文化芸術活動の環境を整えていきます。平成28年度以降も、文芸センターにおける取り組みと地域への展開の充実を図ります。

そのため、市民、事業者、大学等の教育機関、文化芸術団体などと連携を深めながら、「大学のあるまち」「音楽あふれるまち」として市内外に発信し、本市の魅力づくりの一つとして取り組みを進めます。

また、市内各地域や施設で展開されている市民主体のさまざまな文化芸術活動を支援するため、情報の受発信や支援制度の充実、文化芸術の発表や練習場所の確保、文芸センターを中核とした地域展開などの取り組みを進めます。

さらに、庁内の関係部局、市民、事業者、大学等の教育機関などと連携しながら公開討論会（フォーラム）やウォークラリーなど、文化芸術にかかる地域資源の活用と発信の取り組みや、姉妹都市米国サンマテオ市・兄弟都市沖縄市など本市と縁のある都市との文化芸術に関する交流を進めます。

もって基本方針が掲げる「人と文化を育む創造性あふれるまち豊中」の実現を図ります。

③推進プログラム

（詳細は「Ⅵ. 文化芸術推進プランの主な取り組み、成果と今後に向けての方向性」に記載）

1. 文化芸術活動を担う人材の育成
2. 大学のあるまちとよなかの推進
3. 音楽あふれるまちとよなかの推進
4. 協働のしくみづくりの推進
5. 文化芸術にかかる地域資源の活用・発信

④推進プランの具体化にあたって

1. 推進体制

推進プランの具体化にあたっては、幅広い市民・事業者との参画と協働のもと、大阪大学・大阪音楽大学をはじめとする教育機関や文化芸術団体などとも連携しながら取り組むこととします。

また、国等のさまざまな助成制度をできるだけ活用するなど財源の確保に努めながら、市長をトップとする文化行政推進会議・連絡会議を中心とした全庁的な推進体制で取り組みます。

2. 評価と進行管理

推進プランの評価と進行管理については、基本方針の進捗把握及び評価を行う中で実施することとします。

評価にあたっては、統合型データベースを活用し、庁内の文化行政推進会議・連絡会議及び文化芸術振興審議会の意見を聴きながら、効率的・効果的に実施・公表します。

また、事業の進捗状況や評価結果を踏まえ、実施主体の変更や既存事業の整理・統合など従前の枠組みにとらわれない大胆な見直しも行い、事業の相乗効果や波及効果が高まるよう取り組みを進めることとします。

V. 文化芸術推進プランの主な取り組み、成果と今後に向けての方向性

1. 文化芸術活動を担う人材の育成

①趣旨

基本方針の重点項目である「文化芸術活動を担う人材の育成」のうち「文化ボランティアとの連携の推進」及び「次世代の育成」を具体化するため、市民の文化芸術活動を支援したり、専門家と共に事業を企画・制作したりすることができる人材を養成する「文化芸術ボランティア養成講座（平成 25 年度から「文化芸術企画制作講座」と名称変更）」を大学などとの連携のもと開講します。

事業の企画・制作について豊富な経験や専門技術をもつ市民の参画を促進します。

②主な取り組み

（主要事業）

- ・文化芸術企画制作講座
- ・吹奏楽ワークショップ
- ・合唱ワークショップ
- ・サウンドスクール

市民の文化芸術活動を支援したり、専門家と共に事業を企画・制作することができる人材を養成するため、前年度に引き続き、「文化芸術企画制作講座」を大阪大学との共催で実施しました。

その取り組みの中で、同講座受講生が、大阪府最古の木造校舎「旧新田小学校校舎」で、企画展「自分のできごとをつくる」を開催しました。

人材育成の取り組みとしては、文化芸術活動に携わる人びとのすそ野を広げるため、大阪音楽大学の協力のもと「吹奏楽ワークショップ」「合唱ワークショップ」を実施しました。

また、音楽あふれる学校園づくりをめざす「サウンドスクール」、こどもが主役となる「こども音楽フェスティバル」等の事業も継続実施しました。

③成果

文化芸術企画制作講座を実施し、学習と経験の場や機会を提供することで、主体的に事業の企画運営に取り組む意志を持つ市民のニーズに応えることができました。

平成 24 年度の講座参加者が、平成 25 年度の市民が創る J a z z 音楽祭実行委員会に参画するなど、本市における文化芸術活動の担い手育成につなげることができました。

④今後に向けての方向性

「文化芸術企画制作講座」を継続し、文化芸術の企画制作に携わる人材の養成に努めるとともに、市民が主体的に関わる事業の定着化を図るため、受け皿となる事業を実施していく必要があります。

また、吹奏楽ワークショップのような人材育成事業の充実を図る他、本市における次世代の文化芸術の担い手を育成する観点から、こどもや青少年が主役となる事業、人材育成をねらいとした取り組みを継続していく必要があります。

2. 大学のあるまちとよなかの推進

①趣旨

市内に、大阪大学と大阪音楽大学が所在するという豊中の地域特性を活かし、市民が大学を身近に感じることができるような連携事業を行うことで教育文化都市豊中にふさわしい魅力の創出につなげます。

②主な取り組み

(主要事業)

- ・大阪大学総合学術博物館企画展『オオサカがとんがっていた時代』の共催
- ・こども音楽フェスティバル
- ・大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画事業

「大学のあるまちとよなか」を発信し、教育文化都市豊中にふさわしい魅力の創出につなげるため、さまざまな大学連携事業を展開しました。

大阪大学とは、大阪大学総合学術博物館企画展『オオサカがとんがっていた時代』の共催を行うとともに、同展示共催企画としてワークショップ「つくって あそんで かんじる ダンボールトンネル迷路」やフィールドワーク「屋外モニュメント探索ツアー『街の風景にアヴァンギャルドを探る』」等の事業を実施しました。

文芸センターにおける市民参画事業の展開を見据え、大阪大学との共催で「文化芸術企画制作講座『2014年2月、〈自分〉のできごとをつくる』」を開講しました。

大阪音楽大学とは、とよなか音楽月間(10月～11月)において「こども音楽フェスティバル」をはじめ庄内地域で展開した「まちかどコンサート」を共催実施するなどさまざまな事業で連携を行いました。

大阪大学、大阪音楽大学、豊中市が覚書に基づき、共同で事業を実施する大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画事業として、電子楽器テルミンと箏の競演「奏でる物理学」(第5回ジョイント企画事業)を実施しました。

③成果

市内大学の知的集積や得意分野を活かした事業を展開することで、文化芸術の発表や鑑賞等を中心に、市民にさまざまな分野における大学連携事業への参画機会の提供と大学を身近に感じていただける場を充実することができました。

④今後に向けての方向性

今後も、本市の地域資源であるマチカネワニ化石や音楽あふれるまちなど文化芸術分野を中心にさまざまな分野において、大学連携事業の定着を図り、教育文化都市豊中の魅力を市内外に発信していく必要があります。

3. 音楽あふれるまちとよなかの推進

①趣旨

音楽が盛んなまち豊中でのさまざまな取り組みを充実することにより「音楽あふれるまちとよなか」として市内外に発信し、その環境整備を進め、教育文化都市豊中にふさわしい魅力の創出につなげます。

大阪音楽大学をはじめとした教育機関や文化芸術団体などさまざまな主体との連携事業を展開するとともに、市民にとっての発表や鑑賞、練習の場と機会の充実に努めます。

②主な取り組み

(主要事業)

- ・とよなか音楽月間の設定
- ・こども音楽フェスティバル（再掲）
- ・大阪音楽大学とよなか音楽月間参加公演
- ・まちかどコンサート
- ・市民ロビーゆうゆうコンサート
- ・豊中まちなかクラシック
- ・高校生軽音楽フェスティバル

「音楽あふれるまちとよなか」を市民に実感していただくと共に本市ならではの魅力を発信するため、9月29日開催の「こども音楽フェスティバル」から11月30日までの期間を「とよなか音楽月間」として平成24年度に引き続き設定しました。

その主な取り組みとして、大阪音楽大学と「こども音楽フェスティバル」「大阪音楽大学実施公演」の冠化、「吹奏楽ワークショップ」、庄内地域で展開した「まちかどコンサート」、「エアポートコンサート」を共催実施しました。

また、市全体として「音楽あふれるまちとよなか」を発信するため、とよなか音楽月間期間中に実施される市主催、共催等のコンサート事業も「とよなか音楽月間参加公演」に位置づけ、市内外に広報しました。

さらに、「とよなか音楽月間」事業以外でも「市民ロビーゆうゆうコンサート」「世界の楽器と音楽（伝統芸能館事業）」「サウンドスクール」「オーケストラの日2014」等さまざまな事業を実施しました。

本市ならではの魅力を発信するため、日本センチュリー交響楽団と共催で、アクア文化ホールや伝統芸能館等の公共施設の他、市内の教会や寺院、歴史的建造物などを会場とした「豊中まちなかクラシック」を開催するとともに、高校生が元気なまちとよなかを発信するため「高校生軽音楽フェスティバル」を実施しました。

③成果

全市的に取り組んだ「とよなか音楽月間」事業や日本センチュリー交響楽団との共催による「豊中まちなかクラシック」を実施したことにより、音楽あふれるまちとよなかを市民に実感していただくと共に市外にも本市の魅力を発信することができました。

④今後に向けての方向性

今後も、音楽あふれるまちとよなかの市内外への浸透を図るため、「とよなか音楽月間」の内容と発信を充実していく必要があります。

とりわけ、大阪音楽大学や日本センチュリー交響楽団それぞれの特徴を活かしながら十分に連携を図っていく必要があります。

また、「音楽あふれるまちとよなか」を市内外に発信し定着化していく観点からも、文芸センターを拠点とした事業、界隈性の演出や市民等との協働など全市的な視点での取り組みについても検討していく必要があります。

4. 協働の仕組みづくりの推進

①趣旨

基本方針の重点項目である「協働の仕組みづくりと場の整備」の具体化を図るため、活動主体間で文化芸術に関する相談・助言を行えるようなネットワークづくりやインターネット等を利用した情報提供など、協働のための仕組みづくりを進めます。

文化施設以外のさまざまな施設や場所を発表や鑑賞の場として活用することにより、鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実を図ります。

文芸センターを核とした地域展開として、原田しろあと館など近隣施設と連携したアウトリーチの取り組みを進めます。

②主な取り組み

(主要事業)

- ・豊中市文化芸術祭
- ・夢ステージとよなか
- ・まちかどコンサート（再掲）
- ・市民が創る J a z z 音楽祭

協働の仕組みづくりの推進については、文化芸術活動の発表や鑑賞機会の充実並びに分野が異なる芸術家や団体等が交流し、ネットワークを広げる場とするため、豊中市文化芸術連盟との共催事業「第 11 回豊中市文化芸術祭」をアクア文化ホールで開催しました。

一方、豊中市美術協会と市が実行委員会を組織し「第 59 回豊中市美術展」をローズ文化ホール及び大阪国際空港で実施しました。

支援制度の充実としては、文化芸術の鑑賞・参加・創造の場の提供と文化芸術活動を担う人材の育成を図ることをめざした「夢ステージとよなか」事業として平成 24 年度に採択された 1 事業「ブラスの饗宴」を実施するとともに、平成 26 年度実施予定の 3 事業「第 1 回豊中パリ祭 2014 シャンソン・愛の世界」「アンサンブル・サビーナと若い仲間の指揮者のいないアンサンブル・コンサート」「演劇公演 陽気な地獄めぐりパート 2」を採択しました。

また、市民公益活動推進助成金に応募のあった事業のうち、文化芸術分野からの申込み件数と助成決定件数は、それぞれ 4 件・3 件(平成 24 年度は 5 件・5 件)でした。

ストリートミュージアムの取り組みとしては、庄内駅周辺商店街で市内中高吹奏楽部によるパレードと空き店舗等の会場でのコンサートからなる「まちかどコンサート」を実施しました。

さらに、協働事業市民提案制度に基づき、文化芸術団体から「市民が創る J a z z 音楽祭」事業の提案があり、大阪大学で実施した他、そのアウトリーチ事業を市内の公共施設、商業施設で実施しました。

③成果

文化芸術祭及び美術展、「夢ステージとよなか」については、市民の鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実に資することができました。

また、「とよなか音楽月間事業」の取り組みでは、商店街の空き店舗等で中高生による吹奏楽パレードやコンサート等を地域奉仕団体等と連携して開催し、ストリートミュージアムの展開として発信することができました。

④今後に向けての方向性

市民協働・参画事業の更なる活性化と充実を図るため、市民企画公募事業「夢ステージとよなか」をはじめとする現行の支援の仕組みを点検し、人材育成事業修了者が参画することができる事業の実施や「夢ステージとよなか」を再構築し、市民企画事業の支援制度の充実について検討していく必要があります。

5. 文化芸術にかかる地域資源の活用・発信

①趣旨

文芸センターを拠点として、市民、事業者、市内の大学(大阪大学、大阪音楽大学)など多様な主体との連携により、各地域の歴史、文化芸術を中心とした魅力ある地域資源を活用・発信します。

②主な取り組み

(主要事業)

- ・大阪大学総合学術博物館企画展『オオサカがとんがっていた時代』の共催(再掲)
- ・文化芸術企画制作講座企画展「自分のできごとをつくる」
- ・とよなか創造界限(「森口ゆたか『子どもの情景一時を超えてー』」「ヴォーリズ最晩年の牧師館と遺志を継ぐ教会堂」他)
- ・豊中まつり2013

文化芸術にかかる地域資源の活用と発信については、大阪大学総合学術博物館企画展『オオサカがとんがっていた時代』の共催及び同展関連企画事業を実施することにより、同博物館の美術史上重要な研究成果を紹介するとともに、本市ゆかりの美術作家を市民に知っていただく機会としました。

また、大阪大学の協力のもとで実施した「文化芸術企画制作講座」事業を実施し、その取り組みの中で、同講座受講生が、大阪府最古の木造校舎「旧新田小学校校舎」で企画展「自分のできごとをつくる」を開催しました。

文化芸術に関する交流では、豊中・サンマテオ姉妹都市提携50周年記念事業としてサンマテオ市における記念式典に参加するとともにパネル展「交流の歩み巡回展」等を実施しました。

また、大阪国際空港における「エアポートコンサート」や「豊中市美術展会員作品展」及び大阪国際空港就航都市である島根県隠岐の島町の作家の作品展示を行いました。

さらに、平成26年の沖縄市兄弟都市提携40周年事業の実施に向けた検討を行いました。

本市の魅力を創造・発信する取り組みとして、市内最大のイベントである「豊中まつり2013」を豊中まつり実行委員会の一員として開催した他、豊中市プロモーション動画「とよなかに包まれて」や豊中の魅力を紹介するパンフレットの作成、原付ナンバープレートのデザイン化、市のキャラクター「マチカネくん」の活用等の魅力創造事業に取り組みました。また、本市の創造的な界隈性の再発見と市内外への発信においては、昭和初期の住宅「原田しろあと館」でのインスタレーション展のほか、暮らしの意匠や歴史的意義を検証する建築見学会など4件を「とよなか創造界限」事業として展開しました。

③成果

本プランの推進プログラム「文化芸術活動を担う人材の育成」、「大学のあるまちとよなかの推進」、「音楽あふれるまちとよなかの推進」、「協働の仕組みづくりの推進」それぞれの取り組みにおいて、豊中の地域資源を活用または発信する事業を行いました。

とりわけ、平成 25 年度は、旧新田小学校校舎を活用した文化芸術企画制作講座のように、建物の魅力、施設の特徴を活かした事業を充実したことで、市内外に向けて豊中の地域資源をより効果的に発信することができました。

④今後に向けての方向性

文化芸術にかかる地域資源の発掘・発信については、市民、事業者、大学等の教育機関など、さまざまな主体との連携を進め、豊中の歴史や文化などテーマ性、ストーリー性を持たせた事業等を継続的に実施していく必要があります。

また、プランの各項目「文化芸術活動を担う人材の育成」「大学のあるまちとよなかの推進」「音楽あふれるまちとよなかの推進」「協働のしくみづくりの推進」に基づいて実施する取り組みを地域資源として活用・発信していく必要があります。

平成 26 年度は、マチカネワニ化石発掘 50 周年を迎えることから、これをきっかけに大阪大学と共同で本市の地域資源であるマチカネワニの発信に努める必要があります。

一方、平成 26 年に沖縄市兄弟都市提携 40 周年を迎えることから、兄弟都市提携の市民周知を図るとともに、新たな市民交流、次世代交流のきっかけづくりともなるような周年事業として実施してまいります。

VI. 平成 25 年度文化芸術推進プラン事業別の取り組み

1. 文化芸術活動を担う人材の育成

(1) 文化芸術企画制作講座の開講

- ・期間：平成 25 年 10 月 31 日～平成 26 年 2 月 20 日
- ・受講者数：32 人（定員 40 人）【平成 24 年度：40 人】
 - （内訳）①男性 9 人（28%）、女性 23 人（72%）
 - ②市内 34%、市外 66%（大阪市 5、宝塚市 4、箕面市 3）
 - ③20 代（5）、30 代（5）、40 代（9）、50 代（9）、60 代（2）、70 代（2）
- ・コーディネーター：緒方 江美さん（Total art planter うえきや 代表）
- ・会場：旧新田小学校校舎(大阪府指定文化財)、大阪大学豊中キャンパス、千里公民館
- ・共催：大阪大学 21 世紀懐徳堂・大阪大学大学院文学研究科・豊中市教育委員会
- ・協力：ワークショップフェスティバル・ドアーズ(IWF 実行委員会)
- ・カリキュラム

回	内容	回	内容
1	全体オリエンテーション（趣旨説明、講師紹介など）	9	実施企画の指針（骨格）の作成
2	企画展のつくり方①（じぶんを知る体験、テーマ設定の仕方など） 講師：牛島光太郎さん	10	広報の仕方（広報記事の作成）
3	企画展のつくり方②（展示内容と方法など） 講師：牛島光太郎さん	11	運営体制表の作成（役割分担の決定）
4	作品制作における視点について 講師：安齋レオさん	12	タイムテーブル・準備物確認表の作成
5	展覧会（日用美術館）のつくり方（キュレーター・アーティスト・鑑賞者の視点など） 講師：北野諒さん	13	運営マニュアルの作成、リハーサル
6	美術作品の鑑賞方法について（対話型鑑賞法） 講師：福のり子さん	14	搬入・会場設営
7	とくいシート（各自得意分野を記入）の作成	15	受講生企画事業の実施（2/15・16、旧新田小学校）
8	アイデアプランシートの作成（アイデアのブレインストーミング）	16	ドキュメンテーション・ミーティング（反省会）



(2) 合唱ワークショップの開催

- ・市内に愛好家が多い合唱の実技指導。(講師：大阪音楽大学教員) 練習成果の発表をアリア文化ホールで行う。
- ・期間：平成 25 年 10 月 12 日～平成 26 年 1 月 18 日 (計 8 回)
- ・受講者数：58 人



2. 大学のあるまちとよなかの推進

(1) 大阪大学総合学術博物館企画展「オオサカがとんがっていた時代」共催

- ・期間：平成25年4月27日～7月6日
- ・会場：大阪大学総合学術博物館
- ・来場者数：4,882人【平成24年度：11,823人(巨大ワニと恐竜の世界)】

<共催企画>

① ワークショップ「<豊中>再発見」

講師：森口ゆたかさん（造形作家）

- ・テレイドスコープ（ビー玉万華鏡）を組み立てていろいろな場所をながめ、ふだんとは全く違う風景を発見する。
- ・開催日：平成25年5月11日
- ・会場：カトリック豊中教会
- ・参加者数：小学生10人（定員10人）

② ワークショップ「つくって あそんで かんじる ダンボールトンネル迷路」

講師：大野良平さん（美術家）

- ・ギャラリー内にダンボールを連結させ、トンネル迷路をつくる。
- ・開催日：平成25年6月15日
- ・会場：市民ギャラリー
- ・参加者数：43人（定員30人）

③ 屋外モニュメント探索ツアー「街の風景にアヴァンギャルドを探る」

案内人：橋爪節也さん（大阪大学総合学術博物館館長）

- ・戦後復興～大阪万博開催にいたる1950～60年代に活躍した芸術家等の作品をめぐる（豊中病院前・豊中市役所内モニュメント、フェスティバルホール外壁、新歌舞伎座ほか）
- ・開催日：平成25年6月29日
- ・参加者数：18人（定員20人）



(2) 文化芸術企画制作講座の実施(再掲)

(3) とよなか音楽月間大阪音楽大学参加協力事業の実施

- ・ とよなか音楽月間(10月～11月)に大阪音楽大学公演の冠化を実施
(3の(3)⑦を参照)
- ・ 中高生吹奏楽ワークショップを実施 (11月) (3の(3)⑥を参照)

(4) 大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画事業の実施

大阪大学、大阪音楽大学、豊中市の覚書に基づき、共同で事業を実施

① 第5回大阪音楽大学・大阪大学ジョイント企画「奏でる物理学」

第一部 講演「奏でる物理学」

講師：菊池 誠さん（大阪大学サイバーメディアセンター教授）

第二部 電子楽器テルミンと箏の競演

出演：児嶋 佐織さん（テルミン）、菊池 誠さん（ギター、テルミン）、
片岡 リサさん（箏/大阪音楽大学講師）

- ・ 開催日：平成25年11月30日
- ・ 会場：大阪音楽大学ミレニアムホール
- ・ 来場者数：243人（定員300人）【平成24年度：118人(平田オリザ氏講演会)】

(5) その他事業

細事業名称	開始時期	指標名	H24年度実績値	H25年度実績値	単位	内容	所管部局・課名称
大学等連携講座	平成元年	開催回数 参加者満足度	161 92	169 96	回 %	大学やNPO・企業などと連携することによって、専門的な分野についての講座や、市民の多様なニーズに応える講座の実施など、学習機会を提供します。	教育委員会 中央公民館
科学教育推進事業	昭和29年	研修・講座等開催回数	42	45	回	教職員の科学教育に関する指導力向上のための研修環境の整備をすすめます。また、小中学生の科学に対する興味・関心・意欲を高め、真理を追究する姿勢を育成するとともに、科学教育を振興し、科学の側面からの学びの循環都市をめざします。	教育委員会 教育センター

3. 音楽あふれるまちとよなかの推進

(1) 市民ロビーゆうゆうコンサートの実施（大阪音楽大学との共催事業）

① 角笛の詩～新緑の風にのせて～

- ・ 出演：ホルン 池田 重一さん（大阪音楽大学准教授）
ピアノ 岡 純子さん（大阪音楽大学卒業生）
- ・ 開催日：平成 25 年 5 月 8 日
- ・ 来場者数：209 人

② フルート・オーボエデュオ【ヨーロッパの風】～素敵なメロディを風に乗せて～

- ・ 出演：フルート 石橋 輝樹さん（大阪音楽大学卒業生）
オーボエ 沸田 明希子さん（ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団）
- ・ 開催日：平成 25 年 9 月 11 日
- ・ 来場者数：216 人

③ オペラハウスからこんにちは～冬のファンタジー～

- ・ 出演：ソプラノ 高津 綾子さん
テノール 諏訪部 匡司さん
バリトン 木村 孝夫さん（ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団）
ピアノ 岡本 佐紀子さん（大阪音楽大学演奏員）
- ・ 開催日：平成 25 年 12 月 11 日
- ・ 来場者数：223 人

④ チェロアンサンブルの楽しみ～心のメロディ～

- ・ 出演：上塚 憲一さん（大阪音楽大学准教授）
植木 美帆さん（大阪音楽大学演奏員）
高田 愛さん（大阪音楽大学演奏員）
土井 真理さん（大阪音楽大学演奏員）
竹中 裕深さん（大阪音楽大学演奏員）
- ・ 開催日：平成 26 年 2 月 19 日
- ・ 来場者数：297 人
- ・ 合計来場者数 945 人【平成 24 年度：1,031 人】

(2) 世界の楽器と音楽の実施

- ・ 大阪音楽大学音楽博物館との共催事業

- ① 講演「小鳥と人間の音楽交流」 開催日：平成 25 年 6 月 22 日
- ② 講演「尺八の音色に魅せられて」 開催日：平成 25 年 11 月 16 日
- ・ 会場：伝統芸能館
- ・ 来場者数：①60 人②59 人（定員 80 人）

(3) とよなか音楽月間事業 (再掲)

- ・行政のみならず大学等の教育機関、事業者、市民団体が10月～11月の期間中に音楽イベントを実施し、統一的に広報・発信を行う
- ・時期：平成25年9月29日～11月30日
- ・来場者数：23,662人【平成24年度：17,572人】
- ・参加事業数：53【平成24年度：49】
- ・参加団体数：25【平成24年度：19】

①豊中こども音楽フェスティバル

- ・音楽月間の幕開けとなるイベント。大阪音楽大学・豊中中央ライオンズクラブとの共催で、市内小中学校・高等学校(4校)の吹奏楽部、大阪音楽大学の学生による演奏会を開催。
- ・開催日：平成25年9月29日
- ・会場：大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス
- ・来場者数：613人(定員800人)
【平成24年度：601人】



②オータムジャズナイト

- ・大阪音楽大学教員によるジャズコンサート
- ・開催日：平成25年10月4日
- ・会場：ローズ文化ホール
- ・来場者数：178人(定員300人)

③こどもと聴くエアポートコンサート

- ・乳幼児とその保護者を対象とした親子コンサート。
- ・開催日：平成25年10月12日①11:00～、②13:00～
- ・会場：大阪国際空港ラ・ソーラテラス
- ・来場者数：239人(定員60人×2回)

④まちかどコンサート2013

- ・豊中市教育委員会・大阪音楽大学・豊中南ライオンズクラブとの共催。市内小中学校・高等学校(6校)の吹奏楽部、大阪音楽大学の学生、市民グループによる演奏を庄内駅周辺の商店街の空き店舗、駅前の空きスペースで実施
- ・開催日：平成25年10月19日
- ・来場者数：2,800人



⑤まちかどコンサート2013in 障害福祉センターひまわり

- ・大阪音楽大学卒業生の演奏

- ・ 共催：大阪音楽大学・豊中南ライオンズクラブ
- ・ 開催日：平成 25 年 10 月 31 日
- ・ 来場者数：60 人（定員 30 人）

⑥吹奏楽ワークショップ

- ・ 大阪音楽大学の講師が市内中学校（9 校）・高等学校（6 校）の吹奏楽部のパートリーダーに実技を指導
- ・ 開催日：平成 25 年 10 月 27 日
- ・ 会場：大阪音楽大学
- ・ 参加学生数：262 人（中学生 174 人、高校生 88 人）

⑦大阪音楽大学参加公演

- ・ 大阪音楽大学主催の有料コンサートへ市民を無料招待。一般には公開していないオペラのゲネプロ（リハーサル）にも招待した。
- ・ 開催日：平成 25 年 10 月 11・13・30 日、11 月 5・14・16・18・29 日
- ・ 会場：大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス、ミレニアムホール
- ・ 計 600 人を招待

⑧その他の音楽月間事業（次頁）

（４）市民が創る J a z z 音楽祭（平成 24 年度豊中市協働事業市民提案制度採択事業）

- ・ 豊中市の音楽資産を活かした「市民がつくる音楽祭」。市民でつくる実行委員会が市との協働事業として開催。（昨年の文化芸術ボランティア養成講座の卒業生 8 人も実行委員会に参加）
- ・ 開催日：平成 25 年 12 月 22 日
- ・ 会場：大阪大学会館（大阪大学豊中キャンパス）
- ・ 来場者数：498 人

（５）日本歌曲コンサート「心に響く、日本のうた」

- ・ それぞれ歌唱分野の第一線で活躍されている大阪音楽大学出身のプロが出演するコンサート。第一部には、合唱ワークショップ受講生と市内高等学校の学生も出演。
- ・ 開催日：平成 26 年 1 月 19 日
- ・ 会場：アクア文化ホール
- ・ 来場者数：347 人（定員 480 人）



⑧その他の音楽月間事業

開催日時	事業名	来場者数 (人)	主管	備考(共催等)
10月19日(土) 12:15~13:00	第6回コラボまつり	3,568	千里地域連携センター	※10時~17時までの来場者数
11月4日(月・祝) ①13:00~14:00 ②15:30~16:30	①リュートの黄金期 一歌声をのせてー「ルネサンスの輝き」 ②リュートの黄金期 一歌声をのせてー「バロックの夜明け」	①17 ②22	都市活力創造室	日本センチュリー交響楽団
11月9日(土) ①11:30~12:30 ②14:30~15:30	子ども音楽会ーごきげんなクラシックー	①67 ②62		
11月9日(土) 13:30~14:30	聖堂に満ちる気品と風格ーバロックのひとつときー	139		
11月9日(土) 15:30~16:30	心うるおす金色の音ーホルンの光輝と陰影ー	142		
11月10日(日) 11:30~12:10	暖簾をくぐればカルテット	42		
11月10日(日) 13:30~14:30	フランス音楽のエスプリー1920年代の響きー	236		
11月10日(日) 15:30~16:30	弦楽アンサンブルで奏でる交響曲の魅力	108		
11月13日(水) 19:00~21:00	飯森範親の「ジュピター」とチェロ協奏曲のタベ	381		
11月16日(土) 11:30~12:30	チャペルに織りなす妙なる調べ	56		
11月16日(土) 13:30~14:30	チェロで奏でるバッハの神髄 vol.2	44		
11月16日(土) 15:30~16:30	古刹に立ちのぼる弦楽のハーモニー	54		
11月10日(日) 13:00~17:00	高校生軽音楽フェスティバル	531		
10月27日(日) 11:00~12:00	庄内音楽のまち 3歳からのミュージカル	70	庄内公民館	
11月4日(月・祝) 14:00~15:30	宮本貴奈「トーク&ジャズピアノコンサート」	81	中央公民館	大阪音楽大学
11月12日(火) 14:00~15:30	大阪音楽大学開放講座 「音楽・心の旅27」	26		
11月26日(火) 18:30~20:00		39		
11月10日(日) ①13:00~15:00 ②15:30~17:30	東日本大震災被災地復興支援 ①ドキュメンタリー映画「3月11日を生きて」 ②吹奏楽交流コンサート	①131 ②800	危機管理室	大阪音楽大学
11月29日(金) 12:00~12:45	ランチタイム・ロビーコンサート	170	千里公民館	
10月6日(日) 14:00~15:00	第63回アンサンブル・サビーナ まちづくりサビーナ・コンサート	80	イタリア生活文化交流協会	担当課: 蛭池人権まちづくりセンター
10月26日(土) 11:00~21:00	エアポートジャズフェスティバル	5,040	大阪国際空港	担当課: 空港室
10月27日(日) 13:00~16:00	ラ ミュズイク マルシェ せんり2013	350	ラ ミュズイク マルシェ せんり実行委員会	所管の公募制補助金(市民公益活動推進助成金)の助成事業 コミュニティ政策室
11月9日(土) 11:00~16:00		2,000		
11月10日(日) 11:00~16:00		雨天中止		

(6) オーケストラの日コンサート

- ・大阪音楽大学ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団が、耳にいい日(3月31日)に演奏するコンサート
- ・開催日：平成26年3月30日
- ・会場：アクア文化ホール
- ・来場者数：432人
- 【平成24年度：476人】



(7) その他事業

細事業名称	開始時期	指標名	H24年度実績値	H25年度実績値	単位	内容	所管部局・課名称
サウンドスクール事業 (小・中学校)	平成18年	H24実施校数	57	42	校	(1)「生きた演奏支援活動」大阪音楽大学の学生や卒業生を小中学校に派遣し、出張演奏会や授業支援、クラブ活動支援等を行います。 (2)「伝統音楽の普及」箏(琴)をセンター校に配置し、和楽器の取り扱いの充実に向け箏(琴)を活用した表現活動を支援します。	教育委員会 教育推進室
サウンドスクール事業 (幼稚園)	平成19年	サウンドスクール招聘回数	7	7	回	「音楽溢れる学校園づくり」を目的に大阪音楽大学との連携による「生きた演奏支援活動」(出張演奏会)を市立幼稚園において実施します。	こども未来部 保育幼稚園室
消防音楽隊	昭和52年	消防音楽隊の出演回数	17	16	回	主に市民を対象とした行事に出演し、演奏を通じて、広く市民に防火・防災思想の啓発を行っています。	消防本部 予防課
小学校連合音楽会・ 中学校音楽研究演奏会	昭和26年	実施回数	2	2	回	発表校の児童生徒による合唱、器楽合奏、吹奏楽等の演奏及び相互の鑑賞を行います。	教育委員会 教育推進室

4. 協働の仕組みづくりの推進

(1) 第11回豊中市文化芸術祭の実施

- ・文化芸術連盟との共催事業
- ・開催日：平成25年11月9日～10日
- ・会場：アクア文化ホール・ホワイエ
- ・出演団体：14団体 【平成24年度：同左】
- ・来場者数：1,420人 【平成24年度：1,750人】

(2) 第59回豊中市美術展の実施

- ・豊中市美術協会と市が実行委員会を組織し開催
(公募作品の部)
- ・日本画、洋画、彫塑、工芸、デザイン、書、写真（7部門）
- ・応募：436点、入選：298点、入賞：61点
- ・開催日：平成25年10月25日～29日
- ・会場：ローズ文化ホール
- ・来場者数：1,828人【平成24年度：1,842人】
- (美術協会会員作品の部)
- ・開催日：平成25年11月15日～20日
- ・会場：大阪国際空港ラ・ソーラテラス 他
- ・来場者数：2,158人【平成24年度：1,976人】

(3) 夢ステージとよなか事業

①ブラスの響演

- ・大阪音楽大学卒業生による吹奏楽演奏
- ・開催日：平成26年3月29日
- ・会場：ローズ文化ホール
- ・来場者数：336人（2回公演）

②次年度採択事業

- ・第1回豊中パリ祭2014 シャンソン・愛の世界
- ・アンサンブル・サビーナと若い仲間の指揮者のいないアンサンブル・コンサート
- ・演劇公演 陽気な地獄めぐりパート2
- ・採択（3事業(応募も同数)）【平成24年度：1事業(応募も同数)】

(4) まちかどコンサート（再掲）

(5) その他事業

細事業名称	開始時期	指標名	H24年度実績値	H25年度実績値	単位	内容	所管部局・課名称
協働推進の公募制度	平成16年	提案公募型委託制度を活用した募集事業数 協働事業市民提案制度への提案事業数	6 1	4 1	件 事業	市が課題を提示し、市民公益活動団体から企画提案を募る提案公募型委託制度と、市民公益活動団体から自由な企画提案を募る協働事業市民提案制度を活用し、市と市民公益活動団体の協働を推進します。	市民協働部 コミュニティ政策室
コラボ事業	平成21年	連携事業の実施回数 市民事業の実施回数	123	24 106	回 回	情報の受発信や案内、相談、交流の拠点となる「コラボひろば」と「屋上庭園」を活用し、市民との協働や施設間の連携により、事業の企画・実施を行います。 また、協働事業市民提案制度を活用した「ディスカバー千里」事業を展開中で、千里地区での生活や暮らしのインタビューの記録をまとめたり、同地区初期の写真の収集、同地区への転入者向けの生活情報冊子集「ウェルカムパック」の作成・配布を行ったりしています。	市民協働部 千里地域連携センター
地域・市民との協働事業	平成17年	各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 実施回数 各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 参加人数	739 20,427	730 20,963	回 人	地域情報を図書館に集め、市民と協働し様々な事業に取り組めます。子ども読書活動推進、しょうないREK、北摂アーカイブス等の各事業を行うとともに、音点訳ボランティア、千里文化センター市民運営会議、地域教育協議会等とも連携し事業に取り組めます。	教育委員会 読書振興課
市民公益活動団体の運営支援	平成17年	マネジメント講座参加者数	64	96	人	市民公益活動を行う上で必要な知識や活動に役立つ情報、団体運営のノウハウ等を学ぶ機会を提供します。	市民協働部 コミュニティ政策室
市民公益活動推進助成金制度	平成16年	新規事業実施数	3	2	事業	市民公益活動事業に必要な経費の助成を希望する団体の公募を行い、公開プレゼンテーション・審査を経て交付決定します。事業実施後に報告会を行います。	市民協働部 コミュニティ政策室
市民活動情報サロン主催事業	平成24年	情報発信した団体数 情報サロンの利用人数	30 6,046	のべ46 5,179	団体 人	市民公益活動のための情報発信及び交流の場の提供、市民公益活動の推進に関する情報の収集・提供、相談、講座の開催、啓発の実施などを行います。	市民協働部 コミュニティ政策室

細事業名称	開始時期	指標名	H24年度 実績値	H25年度 実績値	単位	内容	所管部局・課 名称
高校生ダンスフェスタ	平成16年	出演者数 来場者数	650 1,415	678 1,927	人 人	ダンスに取り組んでいる高校生世代の青年グループを公募して実行委員会を立ち上げ、それぞれのグループの発表のみならず、制作過程を大切にしたい高校生等によるダンスの発表会を創りあげます。	教育委員会 青少年育成課
とよなか地域子ども教室	平成16年	教室数 地域子ども教室延べ参加者数(大人) 地域子ども教室延べ参加者数(子ども)	41 49,172 105,206	41 45,285 100,309	カ所 人 人	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。	教育委員会 地域教育振興室

5. 文化芸術にかかると地域資源の活用・発信

(1) 文化芸術企画制作講座の開講（再掲）

(2) 豊中まつり2013の開催

- ・開催日：平成25年8月3日～4日
- ・会場：豊島公園
- ・来場者数：延べ162,000人【24年度：142,000人】
- ・ボランティア参加者数1,100人【24年度：同左】

(3) こどもと聴くエアポートコンサート（再掲）

(4) 姉妹都市提携50周年記念展

- ・豊中市とアメリカ合衆国・サンマテオ市との提携50周年を記念してのパネル展。サンマテオ市で行われた記念式典、市民から募集したゆかりの品、エッセー等を紹介した。
- ・期間：平成25年10月7日～10日
- ・会場：市役所第二庁舎ロビー

(5) 大阪大学総合学術博物館企画展「オオサカがとんがっていた時代」（再掲）

<共催企画>

- ①ワークショップ「<豊中>再発見」
- ②ワークショップ「つくって あそんで かんじる ダンボールトンネル迷路」
- ③屋外モニュメント探索ツアー「街の風景にアヴァンギャルドを探る」

(6) その他事業

細事業名称	開始時期	指標名	H24年度実績値	H25年度実績値	単位	内容	所管部局・課名称
地域情報デジタル化事業システムの運用	平成21年	北摂アーカイブスへのアクセス件数 公開データ件数	69,641 247	72,461 267	件 件	図書館が、ICT及び図書館情報システムを活用して地域情報の収集・発信を行うための仕組みを実現し、市民と事業者と行政の協働で事業を行います。「わがまちの記憶を記録に」を理念とし、市民ボランティアが図書館を活動拠点として、地域に眠る写真の収集・整理・デジタル化を行い、図書館のホームページ等を通じて発信します。	教育委員会 読書振興課
伝統芸能館自主文化事業	平成8年	H25 参加者数	2,000	1,373	回	組織運営・企画の支援 発表会の支援を行います。	人権文化部 文化芸術室
伝統芸能館施設運営	平成8年	H25 発表会・公演回数(主催等除)	63	72	回	組織運営・企画の支援 発表会の支援を行います。	人権文化部 文化芸術室

細事業名称	開始時期	指標名	H24年度実績値	H25年度実績値	単位	内容	所管部局・課名称
魅力創造事業	平成24年	豊中に住み続けたいと感じる市民の割合	-	84	%	豊中の魅力を高める事業の実施など、豊中ブランド創出に関する取組みを展開します。昨年度からの豊中まちなかクラシックと高校生軽音楽フェスティバルに加え、平成25年度はさらに地域資源の掘り起こしにつながる豊中観光まち体験イベント等の実施や豊中観光PR冊子の制作を検討します。	政策企画部 都市活力創造室
文化財の保護、活用及び啓発	昭和31年	文化財の公開及び展示の入場者総数 子ども文化財教室等の講座・学習事業への参加者数 登録文化財 指定文化財	7,115 1,034 25 79	13,388 1016 35 79	人 人 件 件	これまでに収集した膨大な資料(考古、古文書、民俗資料等)を、収蔵環境に配慮しながら適切に保存・管理し、次世代に継承します。また、市内民家に伝わる古文書や民俗資料、それにまつわる伝説・伝承など新たな資料の収集に努めます。さらに展示や出前講座、史跡散策など、市内各学校や施設との連携事業等を通じ、文化財の公開・活用を進めます。	教育委員会 地域教育振興室
沖縄市兄弟都市交流	昭和49年	沖縄市訪問回数	1	2	回	少年サッカーチームの相互訪問、豊中まつりなどにおける兄弟都市交流の支援を行います。	人権文化部 文化芸術室
サンマテオ市姉妹都市交流	昭和39年	協会会員数	124	120	人	高校生英語弁論大会開催、親善使節の派遣、少年野球チーム親善交流への協力など両市市民間の交流を推進し、市民レベルでの姉妹都市交流を行います。	人権文化部 文化芸術室

6. その他の事業

細事業名称	開始時期	指標名	H24年度実績値	H25年度実績値	単位	内容	所管部局・課名称
文化行政推進事業	平成5年	文化行政推進会議開催回数 文化行政連絡会議開催回数 摂津圏文化行政連絡協議会参加回数	1 2 2	1 2 1	回 回 回	文化行政推進会議の運営や広域的な文化行政についての情報交換・研究、後援名義の使用承認、大阪ミュージアムの登録物のPRIに伴う事務調整、市の花バラの啓発等を推進します。	人権文化部 文化芸術室
(仮称)文化芸術センター整備事業 (文化芸術センター整備費)	平成23年	—	—	0		(仮称)文化芸術センター基本構想と同基本計画をふまえたH23年度の整備計画をもとに基本設計、実施設計を終えました。今後、文化芸術団体や近隣住民等と調整を図りながら市民会館解体及び同センターの建設工事を着工します。 (平成25年9月補正の内容) (仮称)文化芸術センター建設工期の変更に伴い本年度支出額の減額補正を行うとともに、継続費総額の増額補正及び年度割の変更を行います。	人権文化部 文化芸術室
文化施設建設基金	昭和59年	文化施設の建設	—	0	件	基金の管理・運営を行います。予算額は文化施設建設基金の利子収入積立金額です。	人権文化部 文化芸術室
市民ホール自主文化事業	昭和44年	—	—	—	%	市民鑑賞事業「落語」等の市民ホール事業を開催します。	人権文化部 文化芸術室
伝統芸能館自主文化事業	平成8年	H25 主催・共催・連携事業数(まつり含)	11	16	本	組織運営・企画の支援 発表会の支援を行います。	人権文化部 文化芸術室
市企画展	平成3年	開催回数	11	13	回	市民との連携やテーマに基づいた企画、市所蔵美術作品の展示などの展覧会を行います。	人権文化部 文化芸術室
美術品等購入基金	平成2年	美術品等の購入 H24美術品等の購入基金	0 0	0 0	件 件	基金の管理・運営を行います。予算額は美術品等購入基金の利子収入積立金額です。	人権文化部 文化芸術室
市所蔵美術品管理	平成20年	収蔵点数	791	791	点	所蔵美術品を、劣化することなく適切に保管するため、一定の温度(17度(±3度))と湿度(55%(±5%))に保つことのできる機能を備えた美術品保管倉庫を借り上げ、保管します。	人権文化部 文化芸術室
老人文化祭事業	昭和47年	来場者数 出展数	605 678	621 697	人 点	市内高齢者より作品を募集し、2日間にわたり文化作品を会場に展示し、文芸作品は作品目録に掲載し配布します。(豊中市老人クラブ連合会との共催)	健康福祉部 いきいきセンター 高齢者支援課
教育美術展	昭和48年	開催回数	1	1	回	生徒の創造的造形学習に対する意欲を高め、表現能力を伸ばすことをねらいとして、平素の美術学習の成果を展示発表します。また、市民の美術教育に対する理解と関心を高めます。	教育委員会 教育推進室

細事業名称	開始時期	指標名	H24年度 実績値	H25年度 実績値	単位	内容	所管部局・課 名称
図書館主催事業	昭和20年	図書館主催行事実施回数 図書館主催行事参加人数	1,810 46,112	1,893 49,375	回 人	市民がより豊かで文化的な生活を営むために、文字・活字文化振興事業として講演会を実施するほか、映画会等の読書振興事業を行います。このことを通じ、図書館を利用したことがない市民の来館のきっかけとします。	教育委員会 読書振興課
社会教育関係団体の支援	昭和24年	発表会、展示会の参加者数	12,276	12,185	人	社会教育関係団体(17団体)の活動を支援するとともに、連携して展示会や講習会を開催します。	教育委員会 中央公民館
公民館登録グループ支援	昭和47年	グループ数 講習会・発表会・展示会開催数	459 127	451 145	回 回	公民館登録グループに対して活動場所の確保や、公民館まつり、グループ体験講習会など活動成果の発表の場を提供するとともに、教養の向上、生きがいづくりを支援します。	教育委員会 中央公民館

平成 25 年度豊中市文化芸術推進プランに基づく施策実施状況

発行日:平成 27 年(2015 年)1月

発 行:豊中市人権文化部文化芸術室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号

TEL 06-6858-2503(直) FAX 06-6846-6003
